

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		聖隷クリストファー大学		設置者名	学校法人 聖隷学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
社会福祉学部	こども教育福祉学科	40人	幼一種免	平成20年度				
看護学部	看護学科	145人	養教一種免	平成22年度				
入学定員合計		185人	合計					
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成23年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成23年7月7日（木）

実地視察大学：聖隷クリストファー大学

実地視察委員：渋谷治美委員、平出彦仁委員、八尾坂修委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・ 2学部2学科で教員養成を行っている。
- ・ 課程認定を受けてからの卒業生はまだ輩出されていない。

<講評>

- ・ 教員養成に関する教育課程、教員組織等は基本的な基準を満たしている。大学全体として教員養成の質を向上させる努力をしてもらいたい。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・ 建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づき、豊かな人間性と倫理観を育てるとともに、これまでに培ってきた看護、リハビリテーション、福祉の分野における専門知識を有した教員を養成していくことを目標としている。
- ・ 教職課程を置く社会福祉学部と看護学部を含め全学でキリスト教関連の科目を必修としている。

<講評>

- ・ 建学の精神がカリキュラムに組み込まれ、教員養成の特色となっており、評価できる。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・ シラバスの授業内容で「～①」「～②」といったものがあるが、学生がシラバスを見て一目でどのような授業を行うかがわかるように、各回ごとの授業内容を記載するように改善すること。
- ・ 3年次に「教職概論」「保育内容総論」といった初歩的な授業が開講されていることから、カリキュラムの体系性の観点から見直しをすること。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・ 今年度、社会福祉学部こども教育福祉学科で初めて教育実習を実施した。附属のこども園を中心とし、その他の近隣の市立、私立幼稚園と個別に受入日程、人数を調整し実習先を確保している。
- ・ 教育実習が今年度初めてのため教育実習の指導、実習協力校との連携体制について、指導方法・方針が大学として定まっていない。

<講評>

- ・ 大学と実習協力校との間で、巡回指導や学生の実習態度等についての情報共有の方法などを検討していくこと。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・ 今年度から、附属のこども園においてボランティア実習を実施している。

<講評>

- ・ ボランティア活動の施設について、老人施設や障害者支援施設にも範囲を広げていくことが望ましい。
- ・ 教員免許の取得を希望する学生が、体験活動やボランティア活動に積極的な姿勢で参加できるような仕組みを検討していくこと。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

(履修指導)

- ・ こども教育福祉学科では、新入生オリエンテーション時において、幼稚園教諭一種免許状取得希望者に対し履修モデルを提示しつつ、履修計画の指導を行っている。また、各学年のセメスターごとにガイダンスを実施している。
- ・ 看護学部看護学科は、課程認定を受けて2年目を迎えている。入学時に養護教諭一種免許状取得希望者に免許状を得るのに必要な科目、単位等の説明をし、1年次末と2年次始めに養護実習の内容や教員採用の状況を説明している。

(指導体制)

- ・ 教員と事務職員が連携して学生の単位修得状況、実習状況、生活状況などを把握し、指導する体制を作っている。
- ・ 学生一人ひとりにアドバイザー教員を配置し、生活や学習上の課題について指導するようにしている。

<講評>

- ・ 静岡県で唯一の養護教諭の課程認定を受けている大学であることから、質の良い養護教諭を多く輩出できるよう、引き続き努力していただきたい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・ 2学部の橋渡しをするような、全学的な組織は存在しない。
- ・ 教員養成カリキュラムを検討するための、カリキュラム検討委員会を設置している。

<講評>

- ・ 現状ではこども教育福祉学科と看護学部看護学科がそれぞれの責任で教職課程を運営しているように見受けられるが、教員養成は、教科に関する科目と教職に関する科目を担当する各教員が連携して全学的に取り組むべきものであることを認識した上で教職課程を運営していくこと。
- ・ また、教員の質が厳しく問われていることを踏まえ、教員養成に中心に関わる教員を更に確保するとともに、中央教育審議会の答申など、教員養成に関する政策的な動向についても、把握する努力をすること。
- ・ こども教育福祉学科と看護学部の教育目標の達成状況をチェックする全学的な組織を立ち上げたとのことなので、その組織の働きに期待する。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・ 実習室は充実している。
- ・ 就職センターの場所が学部棟から離れていて利便性が悪いので、学生が利用しやすいように改善すること。
- ・ 幼稚園教諭を養成するのであれば教材として絵本、紙芝居が必要となるので充実させること。また、養護教諭関係の雑誌が不十分であるので、充実させていくこと。

